

人もマグロのぼりも
大行列!!

あま
2006 平成18年
12 No. 464

2006 朝やげ・夕やげ・横やげ
大間町超マグロ祭り」開催

10月20日(金)

22日(日)の3日間、大間港特設会場において「大間超マグロ祭り」が開催されました。

冷たい風が吹くあいにくの天気となりましたが、マグロはもちろん、昆布やワカメなど大間の特産品を買い求めるたくさんの方で、連日賑わいました。



▲大間高校生徒の協力で大助かり



▲心も体も温まった海鮮バーベキュー



▲職人と周囲の視線がマグロに集中



◀寒風の中、歌手のあさみちゆきさんがストリートライブ

▶皆さんじっくりと品定め



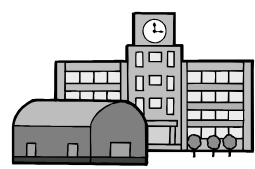
佐々木清喜氏が
厚生労働大臣表彰を受賞

大間町国民健康保険運営協議会委員として、昭和55年から26年にわたり国民健康保険事業の発展に貢献された功績が認められ、11月7日(火)表彰状の伝達がなされました。



米澤明男前教育長が
文部科学大臣表彰を受賞

昭和63年から18年にわたり大間町教育長として、地方教育行政の発展に尽くされた功績が認められ、10月19日(木)表彰状の伝達がなされました。



航行援助業務 協力者に感謝状

灯台記念日の11月1日（水）、青函連絡船メモリアルシップ「八甲田丸」において、航行援助業務協力者に対する表彰式が行われました。

式では、大間港付近を通行する船舶の安全のため、15年以上にわたり灯台の灯火監視に従事したとして、大間漁業協同組合と工藤竹美氏に、同じく15年以上にわたり灯台を見回るための用船業務に従事したとして竹内勝雄氏に、それぞれ第二管区海上保安本部長から感謝状が贈られ、青森海上保安部長より伝達されました。



▶向かって左から、浜端組会長、工藤氏、竹内氏

奥戸小5年生が 川について学習

10月19日（木）川蟬会やJパワーの協力で奥戸小学校5年生が小川代川について校外学習を行いました。まず小川代川の砂防ダムを見学し、野崎建設工業（株）の方からダムの役割について説明を受けました。その後、奥戸・材木地区の各家庭に配られている水を取り入れてある小川代川の取水場まで移動し、自分たちの家までどのように水が届けられているかを学習しました。



▶災害時のダムの役割について勉強



▶普段使っている水の出発点、小川代取水場



▶どういった生き物がいるか自然探索

第16回防火の花コンテストで 最優秀賞、優秀賞

防火の輪を広げ、花を育てながら優しい心も育ててもらおうことを目的に行われる「防火の花コンテスト」。今回は郡内24の幼少年消防



▶火の用心の誓いを宣言、下手浜保育所



▶大間崎幼年消防クラブ

クラブが参加し、審査の結果、大間崎幼年消防クラブ（下手浜保育所）が最優秀賞、大間保育園幼年消防クラブが優秀賞を受賞しました。

また、大間幼稚園幼年消防クラブと奥戸保育所幼年消防クラブも奨励賞を受賞しました。



▶大間保育園幼年消防クラブ



くろまつでマグロ解体ショー

10月25日(水) 特別養護老人ホーム「くろまつ」において、民宿「海峡荘」さんのご好意により、マグロ解体ショーが行われ、マグロのお刺身が利用者の皆さんに振る舞われました。



▶立派なマグロにみんなびっくり



▶豪華な昼食となりました

第14回大間町産業祭

11月4日(土)、5日(日) 大間町総合開発センターにおいて、商工会加盟店や生活改善グループ、農協や漁協などが一堂に会して「大間町産業祭」が開催されました。



▶大賑わいの会場



▶何ができるかな、大抽選会

衣服やお菓子など様々な商品が販売されました。また、マグロセットや大間牛が当たる大抽選会・もちつき大会なども行われ活気に満ちた会場は大いに盛り上がりました。



▶新しくきた生活改善グループ「大間風やまき」



▶会場を盛り上げた「もちつき大会」

第31回町民文化祭

11月4日(土)、5日(日) 大間町立公民館において、「町民文化祭」が開催されました。

公民館の1階には、町民の皆さんが制作した数々の作品が展示され、2階には、草履作り体験や子どものための買い物体験のコーナーも設けられました。丹精込めて作られた作品に囲まれて訪れた人は、ゆったりと文化の秋を楽しみました。



▶先生のようにうまくいかないよ
(草履作り体験)



▶俳句から山野草まで様々な作品を展示



▶力作ぞろいの手工芸品も展示されました

＋ 病院だより No.106 今月の担当医 内科医長 鈴木 歩

はじめまして、大間町民の皆様。10月より大間病院に勤務している鈴木歩と申します。

下北半島へは約1年半前に生まれてはじめて来ました。転勤で前赴任先の病院に来たのがきっかけです。もともと五戸町出身ですので、青森県の環境には慣れていますが、下北も場所によっては天候が随分と違うものです。ここは特に風が非常に強いというのが第一印象でした。

もう早いもので1ヵ月以上たちましたが、まだまだ大間町のことは良く存じません。歴史的には1889年大間村と奥戸村が合併して大奥村となり、1942年大間町になったそうです。もちろんマグロが有名です。和食好きで、マグロに限らず魚介類が大好きな自分には大変ラッキーです。マグロといっても何種類もあるそうですし、食べる部位や食べ方もいろいろあるとのことですので、ここで教わっていろいろと学びたいと思います。

話は変わって、大間病院に医師として赴任してきましたが、医師とは？あらためて考えました。医師に求められるもので時代を超えて変わらないものは、やはり病気を治すということに尽きるのではないかと思います。免許取得後も常に医学の勉強を継続しなくてはなりません、勉強は嫌いではありませんし、勉強したことが患者さんの利益に結びつきますし、医師になって良かったと思います。それから患者さんが医師に求めるものは千差万別であることも、日常診療していていつも感じます。同じ時間が流れることはなく、個人の数だけの物語があります。患者さんに満足していただけるような医療を自分は提供できているでしょうか？残念ながら、まだまだ不満をいただくと感じます。

最後になりますが、大間町民の皆様が末永く健康でいられるように頑張っていきます。思いのままに書きました結果、乱文乱筆になりましたことをお許しください。

自分らしい健康を
考えられる街づくり

保健だより 121号 住民福祉課 担当：蝦名保健師

うつ病って何？



こんな症状があります

食欲がない。
寝つきが悪い。夜中目が覚める
何もしたくない。おっくうだ。
人と話したくない。
涙もろい。
疲れがとれない。
不安が続く。疲れがとれない。
自分に自信がない。
生きていたくない。
だるい。肩がこる。

青森県は全国で2番目に自殺が多い県です。

自殺に至るのは、50代前後の男性に多くなっていますが、その前症状として「うつ病」がみとめられています。また、最近では、若い女性にもこの病気が多くなっています。



うつ病の時は

- うつ病が疑われる時は、精神科・心療内科を受診しましょう。正しい治療により、ほとんどは改善していきます。
- うつ病は怠けているわけでも、精神が弱いからなるのでもありません。これ以上頑張りたくてもできない状態なので、とにかく休養が必要です。励ましたり、責めたりしないようにしましょう。
- 本人も家族も、一人で抱え込まず病院や保健所・市町村の保健窓口などに相談してください。

第28回音楽祭～サウンドフェスタinおおま

11月5日(日)「北通り総合文化センター「ウイング」において、大間町音楽祭「サウンドフェスタinおおま」が開催されました。

津軽海峡海鳴り太鼓の勇壮な演奏で幕を開けた音楽祭は、園児のかわいい楽器演奏や音楽教室の生徒による華麗なピアノ演奏、函館市戸井地区のコーラスグループの見事なハーモニーなど次々と様々な曲・歌が披露されました。

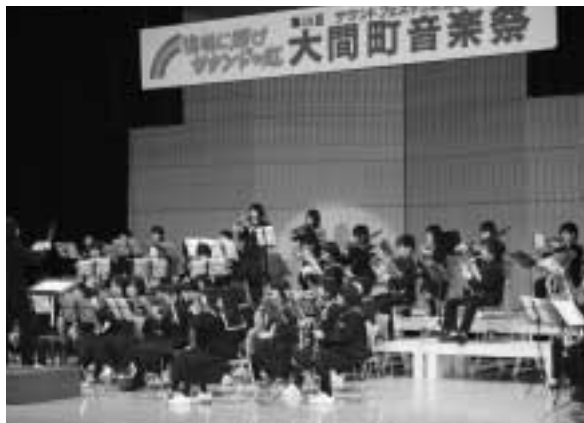
最後は函館市立日新中学校・大間中学校・奥戸中学校・大間高等学校による心が楽しくなるような迫力ある吹奏楽合同演奏が行われ、大盛況の内に終了しました。



◀きれいな歌声を聞かせてくれた大間小学校



◀戸井から参加、コーラスグループ「T・O・I」



▶吹奏楽合同演奏で音楽祭も最高潮に



◀元氣よく和太鼓演奏、大間保育園

「習うより学べ」

大間町学力向上推進委員会
奥戸小 教頭 菊池 治夫

『学習』という言葉は、「学ぶ」と「習う」という意味の似通った漢字の組み合わせの熟語である。どちらもそれぞれの勉強することに関連の深い言葉ではあるが、「学ぶ」というのは主体的、積極的、能動的な感じのする言葉であるのに対し、「習う」というのは、どちらかというと受動的、消極的な印象の強い言葉である。大間町の児童生徒は概して、教師に指示されたことや与えられた課題に対しては一生懸命に取り組むが、自分から進んで学習課題を考え、解決しようとする姿勢は物足りないように思う。「学ぶ」と「習う」という言葉では残念ながら「習う」という言葉がびったりする感じが強い。教師や他の人に教え込まれた「習った」内容は、時間の経過とともに忘れられがちになるが、自分で考え、実際にいろいろやってみて苦労して分かった「学んだ」ことは

忘れないものである。「好きこそものの上手なれ」という言葉もあるように、自分で意欲的に取り組むものは、たいていその人の得意なものになっているはずである。例えば、人によってそれは、漢字であったり、計算であったり、英単語であったり、音楽であったり、体育であったり、図工であったり、時には野球や剣道、陸上競技などの部活動であったりさまざまだとは思わが……。そういう教科や時間は、「早くこないかなあ！」などと待ち遠しく感じるものであり、同じ時間なのに「あつという間に終わった」などと、短く感じられるものである。できれば、自分の得意な、好きな教科に対する意欲や取り組む姿勢などを他の苦手な教科へと広げてもらいたいものである。少なくとも、小・中学校の段階では、極端に苦手な教科や嫌いな教科をつくらない事である。「学びの道は遠くして難し」という言葉があるが、『習うより学べ』というのが神妙な言葉ではないか。

いきいき学校通信

子ども達の歓声が 校舎いっばいに 響き合う学校

奥戸小学校

休み時間、グラウンドいっばいに駆け回る子ども達。『元氣・思いやりの心がいっばいの奥戸小』を目標に子ども達と一緒に取り組んでいます。

8月に行われたNHK合唱コンクールでは、初めて銀賞を受賞。九月のはまなす駅伝では、初優勝。今までの努力が実を結んだ年になりました。赤石海岸での炊事遠足、奥戸川の観察、天狗山登山、栗拾い等、地域との関わりや自然の中の学習を通して、自分の住む郷土のよさに気づく活動が進められました。



笑顔がいっばい

『奥戸中のグラウンドで元気に進行する子どもたち』

5月21日、奥戸小学校・中学校合同大運動会が青空の下、大勢の方が集まりにぎやかに行われました。「昔の町民運動会のように、楽しい。」多くの方々から、今年の運動会は良かったという声を聞くことができました。

中学生の力強い走りや迫力ある応援合戦には感動しました。中学生の演技を一

生懸命にまねをしている小学生、一方、低学年の遊技をやさしい瞳で見つめ、笑顔がこぼれる中学生の姿に、心の交流ができたように感じました。

また、グラウンドいっばいに集まったお年寄りの元気な姿。「奥戸地区はみんなが参加していいなあ。」来賓の方々からの感想が聞かれました。

運動会終了後の反省会「来年は、子どもがいなくなるけど、運動会にはかだりてのう。」という声もささやかれました。様々な問題はありましたが、地域の方々と協力し、奥戸地区の運動会として、盛り上げていきたいと思えます。

秋晴れの赤石海岸

楽しい全校炊事遠足

9月12日、秋晴れの津軽海峡、北海道が見える赤石海岸で、「奥戸いもの収穫祭」として炊事遠足を行いました。

春、豊作の願いを込め植えた奥戸いものは、秋には、二百キロ近くの収穫となり



ました。

遠足では、縦割り班でメニューを考え、材料を買出し、6年生を中心に計画しました。

学校から赤石海岸まで歩いて移動、到着後、野菜の皮をむいたり、火をおこしたり、みんなで料理を作り「あっちー」「早く、野菜を入れせ」悪戦苦闘しながらも、おいしいカレーやシチューができあがり、みんなで食事、満足顔。

昼食後は、小さい岩をおこしてカニ探し、必死の抵抗にあいながらも、生き物探しに夢中！時間を忘れ、自然いっばい、歓声いっばいの赤石海岸でした。

大歓声の中で野球

職員チーム対児童

9月、秋晴れの昼休み。全校児童の大歓声の中、職員チーム対児童チームの試合が行われました。学校生活に変化と潤いを持たせ、活気のある学校にしようというところで計画されました。はじめは新人チーム、次に6年生チームと対戦しましたが、気迫に勝る教員チームが圧勝。勝負の厳しさを見せつけました。

即席の応援団、真剣なプレー、全校が一つになって野球を楽しむことができました。大きな声援と、懸命な先生方の姿。共に汗を流した喜びを味わえた思い出に残る活動でした。



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

12月

（師走）
しわす

暮らしのインフォメーション

皆さんの、日々の暮らしに役立つ情報がいっぱいです。
楽しい生活を送るために、ぜひ、ご活用ください。

健康ですか・・・*

保健衛生事業（12月分）

事業内容	期 日	場 所	時 間 帯
B C G 予防接種	12月7日(木)	大 間 病 院	受付 13:30~13:50 対象 H18.6.9生~9.7生
乳児・1歳6ヶ月・2歳健診	12月11日(月)	総合開発センター	受付 12:50~13:00
住民健診結果説明会	12月13日(水)	漁業活性化センター	受付 10:30~15:00
住民健診結果説明会	12月14日(木)	材木農村婦人の家	受付 10:30~15:00
発 達 相 談	12月18日(月)	総合開発センター	10:00~11:30 ※幼児の発達に関する相談と教室です。 事前に住民福祉課まで申込みください。
障 害 者 デイケア	12月19日(火)	風間浦村げんきかん	10:00~15:00 ※障害者の社会復帰事業です。事前に 住民福祉課まで申込みください。
陽 だ ま り の 会	12月21日(木)	北通り総合文化センター 「ウ イ ン グ」	13:00~15:00 ※身体障害・筋力低下症等の方の会で す。事前に住民福祉課まで申込みく ださい。
三種混合予防接種	12月25日(月)	大 間 病 院	受付 13:30~13:50 対象 H11.7.1~H18.9.25生
風しん予防接種	1月5日(金)	大 間 病 院	受付 13:30~13:50 対象 H17.1.16~H18.1.8 H12.4.2~H13.4.1生
3 歳 児 健 診	1月9日(火)	総合開発センター	受付 12:30~12:45 対象 H15.6~9月生
ハローベビールーム	1月16日(火)	総合開発センター	受付 13:15~13:30 ※乳児の健康相談です。

※予防接種について、都合で受けられない場合は、担当まで連絡くださるよう、お願い致します。
(住民福祉課 山本、蝦名)

※お問い合わせ・詳細については、役場住民福祉課まで（内線41番）

母子自立支援プログラム策定事業について

児童扶養手当法の改正により、平成20年4月から児童扶養手当が減額されることになりました(減額率は未定)。
県では母子家庭の自立・就労支援のため「母子自立支援プログラム策定事業」を開始しました。母子自立支援プログラム策定員が、自立・就労に関する相談をお受けし、支援します。どうぞご利用ください。

【対象となる方】

児童扶養手当を受給している方

【事業の内容】

- ①母子自立支援プログラム策定員が、
- ②児童扶養手当を受給している方と面接して、
- ③生活や子育ての状況、自立・就労に向けた課題や阻害要因等を把握し、
- ④自立目標や支援内容の設定などの支援をします。
- ⑤状況に応じて公共職業安定所との連携による就労支援も行います。

〈お問い合わせ先〉

下北地域県民局地域健康福祉部 福祉総室（下北地方福祉事務所）
住所：むつ市中央1丁目1-8
電話：0175-22-8581（内線225）

県政モニターを募集しています。

県では、アンケートを通じて県民の皆様から意見・要望などをお聞きし、施策の企画・立案の参考にするため県政モニターを募集しています。

◎応募資格 県内にお住まいの満20歳以上の方

(議員、公務員、行政相談委員、国や地方公共団体のモニターを務めている方や務めることになっている方、平成14年度以降に県政モニターを経験した方は除く)

◎募集人員 90名程度

◎期 間 平成19年4月下旬からおよそ2年間

◎仕 事 アンケートに対する回答(年3回程度)

◎応募方法 必要事項を記入して、はがき又は電子メールでお申し込みください。

◎必要事項 〒住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日、職業、電話番号、希望理由、各種モニターの経験、携帯電話以外の電子メールアドレス(ある場合)

(ご応募の際にいただいた住所、氏名、電話番号等の個人情報については、県政モニターの選定など県政モニターに関する事務以外の目的では利用しません。)

◎応募締切 平成19年1月31日(水)当日消印有効

◎結果通知 居住地域、年齢、職業などを勘案して決定し、平成19年3月末までに全員に通知します。

◎その他 1年ごとに記念品を贈呈します。

◆お問い合わせ、お申し込みは

〒030-8570 青森市長島1丁目1-1

青森県企画政策部 政策調整課 広報広聴グループ 県政モニター係

電話017-734-9138(直通) 電子メールアドレス koho@pref.aomori.lg.jp

一部事務組合下北医療センター 指名競争入札参加者資格審査申請

1月4日～1月31日受付け

一部事務組合下北医療センターでは、平成19年度の指名競争入札参加者資格審査申請を受け付けます。

下北医療センター(東通地区診療所を除く)を構成する各病院・診療所が行う物品購買・建設工事などの指名競争入札に参加を希望する方は、申請してください。

申請書類は、申請手続きの要項に基づき、それぞれの業種に応じて必要な書類を取りそろえて提出してください。

申請手続きの要項・申請書類は、むつ総合病院のホームページからダウンロードできますのでご利用ください。なお、印刷したものを希望の方は、実費として1部100円にて各病院・診療所においてお渡しいたします。

※1 今回は定期審査の中間年にあたりますので平成18年度の申請を受理された業者の方は申請する必要はありません。

※2 今年度より受付が管財課契約審査係から総務課契約審査係に変更になりました。

〈お問い合わせ先〉

〒035-8601 むつ市小川町一丁目2番8号 むつ総合病院 総務課 契約審査係

電話0175-22-2111(内線3214) FAX0175-22-4439

ホームページURL <http://www.hospital-mutsu.or.jp>

災害被害者に対する 県税の減免措置 等について

1 県税の減免

災害により、財産に及ぼした損害が非常に大きく、そのために生活に重大な影響があった場合には、被害の状況等に応じて、今後納付すべき県税を減免する制度があります。

2 期限の延長

災害により、申告、申請、請求その他書類の提出（不服申立てに関するものを除く。）又は納付若しくは納入に関する期限までに、これらの行為をすることができないときは、期日を指定してこれらの期限を延長する制度があります。

3 徴収猶予

災害により、県税を一時に納付（納入）することができないときは、徴収を猶予する制度があります。

詳しくは

下北地域県民局県税課

納税課

電話 22-31105

労働者・事業主の皆様！

職場でのトラブル解決を 労働局がお手伝いします！

青森労働局

無料の「個別労働紛争解決援助制度」をご利用ください

●個々の労働者と事業主の間の解雇、配置転換、賃下げ、セクハラ等の労働関係のあらゆる紛争を対象に、次の制度を無料でご利用いただけます。

1. 総合労働相談コーナーにおける情報提供・相談
2. 青森労働局長による助言・指導
3. 青森紛争調整委員会（弁護士・大学教授等により構成）によるあっせん（ただし、あっせんは募集・採用に関するものを除く）

○詳しくは、青森労働局総務部企画室（017-734-4212）又はむつ労働基準監督署庁舎内総合労働相談コーナー（22-3136）までお問い合わせください。

青森労働局ホームページ

（<http://www.aomori.plb.go.jp/seido/seido01.html>）

国有林モニター募集します

東北森林管理局では、国有林の管理・運営に皆さんの声を役立てていくため、モニターを募集しています。

募集人員 48名

募集期間 平成18年12月28日（木）まで

任 期 平成19年4月～平成20年3月

内 容 アンケートへの回答、国有林モニター会議への出席等

そ の 他 応募資格、応募方法など、詳しくはお問い合わせください。

お問合せ先 東北森林管理局 国有林モニター係
TEL018-836-2274 FAX018-836-2031

東北森林管理局ホームページ

<http://www.tohoku.kokuyurin.go.jp>
からご覧いただけます。

農業用免税軽油の免税証交付申請の受付について

[受付日] 平成19年1月10日（水）・11日（木）

[時 間] 午前9時30分から午後3時まで

[場 所] 県合同庁舎旧館2階小会議室

※申請書類は郵送でも受け付けております。

[対象者]

農業を営む方で軽油を燃料とするトラクター、耕運機等を使用して農作業を行う方です。

[必要なもの]

①印鑑 ②耕作証明書 ③免税軽油使用者証（初めて申請する方を除く。）

④返信用郵便切手430円分

※ 免税軽油使用者証の有効期限が平成19年12月31日以前の方は、上記①～④のほか、誓約書及び青森県収入証紙400円分が必要です。

※ 初めて申請する方、使用機械に変更のある方は、上記①～④のほか、使用機械の譲渡証明書、誓約書及び青森県収入証紙400円分が必要です。

申請は指定した受付期限までに行うようにお願いします。

お問い合わせ	下北地域県民局県税課課税課
	TEL22-8581 内線208

放送大学 4 月入学生募集

放送大学はテレビやラジオで授業を行う通信制の大学です。

働きながら学びたい、生涯学習に興味があるなど、様々な目的で、幅広い世代の方が学んでいます。

ただいま、平成19年4月入学生を募集しています。詳しい資料を無料で送付致しますので、お気軽にお問い合わせください。

○募集学生の種類

教養学部

科目履修生(6ヵ月在学し、希望する科目を履修)

選科履修生(1年間在学し、希望する科目を履修)

全科履修生(4年以上在学し、学士の学位の習得を目指す)

大学院

修士科目生(6ヵ月在学し、希望する科目を履修)

修士選科生(1年間在学し、希望する科目を履修)

○受付期間

平成18年12月15日(金)～平成19年2月15日(木)

○資料請求(無料)・お問い合わせ先

放送大学青森学習センター

〒036-8560 弘前市文京町1

(弘前大学創立50周年記念会館内)

TEL0172-38-0500

八戸サテライトスペース

〒039-1102 八戸市一番町1-9-22

(八戸地域地場産業振興センター〔ユートリー〕内)

TEL0178-70-1663

放送大学ホームページ <http://www.u-air.ac.jp>

年末年始休診のお知らせ

●大間病院

12月29日(金)～1月3日(水)まで

●むつ総合病院

12月30日(土)～1月3日(水)まで

※ともに救急患者については、随時受付いたします。

し尿汲み取りのお知らせ

年末のし尿汲み取りは

12月16日(土)までに申し込んだ分とします。

なお、申込順に順次汲み取りを行いますので、日時指定はご遠慮ください。

[汲み取り業者] (有)大間運輸 TEL 37-2805

※申し込みはお早めをお願いします。

人権相談所開設について

遺産相続、登記に関すること、家庭内のいざこざ、職場問題…。

相談したいことはありませんか？

◎相談所開設します。

〈相談担当者〉大間町人権擁護委員

日時	場所
12月5日(火) 午前10時～午後3時	大間公民館

☆相談は無料です。秘密は固く、守られます。

年末年始のお知らせ

●海峡保養センター

年末年始も通常営業です。

【営業時間】午前9時～午後9時

●養老センター

【営業時間】午前9時～午後8時

【12月の定休日】

5日・12日・19日・26日

12月29日(金)～1月3日(水)

は休業いたします。

●大間町クリーンセンター

12月29日(金)～1月3日(水)

は休業いたします。

製造事業所の皆様へ

経済産業省

青森県

大間町

経済産業省では、工業統計調査を平成18年12月31日現在で実施します。

工業統計調査は、製造業を営む事業所を対象として、その活動実態を明らかにすることを目的として調査します。

調査結果は、国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として利用されるとともに、企業、大学などでの研究資料、小・中・高等学校の教材など、広く利用されているところです。

皆さまにご提出いただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守されますので、正確なご記入をお願いします。

「わが家のお子さんを広報に載せてみませんか。掲載を希望される方は、お気軽にお問い合わせください。」



「わが家のめんこ」を募集中

固定資産税のあらまし

- 固定資産税の納期
第3期の納期が12月25日となっています。
- 固定資産税の納税義務者
固定資産税は、毎年1月1日にその土地、家屋、償却資産を所有している方がその固定資産の評価額をもとに計算される税額をその固定資産税の所在する市町村に納める税金です。ただし、所有者として登記（登録）されている方が死亡した場合には、相続人の代表が納税義務者となりますので、届出くださるようお願いいたします。
- 家屋及び償却資産の申告等
住宅、納屋及び車庫等を新築、増築及び取壊ししたときは届出ください。また、毎年1月1日現在で大間町に所在している償却資産の所有者は、1月31日までに申告してください。
- 免税点
一名義人の土地、家屋、償却資産のそれぞれの課税標準が免税点に満たない場合には固定資産は課税されません。
土地：30万円、家屋：20万円、償却資産：150万円

休日納税相談窓口のお知らせ

平成18年12月10日(日)、16日(土)、17日(日)
9:00~16:00の日程で納税相談を行います。

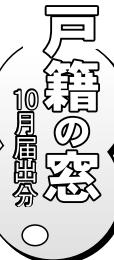
わたしたちの町

平成18年10月末現在()前月比



	人口	男	女	世帯数
総数	6,427(-8)	3,229(-7)	3,198(-1)	2,477(+3)
大間	4,871(-8)	2,443(-7)	2,428(-1)	1,939(+2)
奥戸	1,337(±0)	676(±0)	661(±0)	466(+1)
材木	219(±0)	110(±0)	109(±0)	72(±0)

「戸籍の窓」には大間町に住民登録をしている人の出生、死亡、結婚について記載しますが、個人のプライバシーを尊重する意味で載せてほしくない人は届出の際に係に申し出てくださることをお願いいたします。



お誕生 おめでとう



菊池 瑠知果 (知人) 新田 くらら (俊輔)
田村 悠 (武春)

おくやみ 申し上げます



林 サワ 88才 熊谷 元一 93才
田口 ユリ 92才 興村 幸太郎 61才
山本 良一 66才 佐々木 安美 77才
藤枝 和雄 59才 傳法 いね 79才
倉本 稔 63才

編集室

いよいよ雪の降る季節になりました。タイヤ交換は済みましたか。以前朝早く出張で出発した時に峠を運転していた、路面が濡れているだけかと思ったら、薄く凍った「ブラックアイスバーン」で大変怖い思いをしました。皆さん一年ぶりの冬道運転です(当たり前ですが)。気を付けましょう!(イチ)

広報 **おおま** 第464号

発行日：2006年12月1日

発行：大間町 編集：企画調整課

〒039-4601 青森県下北郡大間町大字大間字大間104番地

☎(0175)37-2111 HPアドレス <http://www.net.pref.aomori.jp/ooma/>

印刷所：協同印刷工業株式会社